

学長との意見交換会

教員及び学生からの意見／学長の回答（第1回～第13回実施分）

※本資料は、意見交換会で出された意見のうち、学長が回答したもの、または大学全体として現時点で方向性を示すことができる内容を抜粋したものです。

未掲載の意見についても、内容に応じて関係部署に共有のうえ、今後の対応について検討しています。

学生ライフを全力バックアップ！

学生・教員の意見	学長回答・今後の対応
『とりりん奨学金（鳥取大学みらい基金修学支援事業奨学金）』を大学院生も対象とする等、大学院生の経済的サポートを手厚くしてほしいです。	今まさに『みらい基金』の獲得に力を入れているところです。大学院生の皆さんへの奨学金を広げていく方向で、前向きに検討を進めていきたいと考えています。
現状、キャリアセンターからのOB・OG紹介が十分とは言えず、学生が自分で訪問先を見つけるのが負担になっています。	在学生と卒業生をマッチングさせるシステムの構築を進めているところです。
学生がより質の高い活動に打ち込めるよう、文化系サークルへの予算配分を増やしてほしいです。	地域貢献につながる活動であれば、地域未来共創センター（Tottori uniQ）を通じて支援できる可能性があります。
大学を代表して活動する学生の後押しとして、部活動補助金を増額してほしいです。	大学としても基金やクラウドファンディング、ギビングキャンペーンといった仕組みをどんどん活用して、皆さんの活動を支える資金を充実させていきたいと考えています。
起業支援やプログラムの存在、それに関する相談窓口などの情報が入手しづらいです。学部オリエンテーションでの周知や学務支援システムを通じた案内など、情報の届け方を改善してほしいです。	相談窓口である地域未来共創センター（Tottori uniQ）をぜひ活用してほしいです。これに合わせて、大学HP、SNS、学務支援システムでの周知を徹底していきます。
地域食堂や駄菓子販売など、地域活動に積極的に参加している学生団体などの活動を起業に繋げられるような支援を希望します。	地域未来共創センター（Tottori uniQ）を中心に、支援の強化を検討します。

もっと快適、ずっと安全なキャンパスへ

学生・教員の意見	学長回答・今後の対応
夏場の熱中症リスクを考慮し、体育館とトレーニングルームに空調設備を導入してほしいです。	基金の活用やクラウドファンディング等の手法を視野に入れつつ、実現可能性を検討していきます。
部室棟、講義室、研究室、実験室の空調不良や雨漏りなどの老朽化が進んでいます。修繕と環境改善をお願いしたいです。	
昼休みの食堂が授業に遅れるほど混雑していて、今のキャンパスでは限界です。混雑緩和のために、カフェの新設やキッチンカーの導入を検討してほしいです。	混雑の状況は把握しており、皆さんがスムーズに食事を摂れるよう、カフェの新設やキッチンカーの導入を前向きに考えています。
学内道路を車が高速で通過し、学生と接触しそうな場面を複数目撃しています。学内交通規制や安全対策を改めて強化してほしいです。	今年度から学内の車両侵入規制を強化していますが、今後も引き続き強化に努めます。
農学部棟周辺の車両進入制限を緩和して、調査地への車移動を容易にしてほしいです。	車両進入規制は安全確保のために徹底していますが、研究用の荷物搬入については運用の緩和を検討していきます。
学内に喫煙所がないため、喫煙者が敷地外に流れ、近隣住民からの苦情が発生しています。完全禁煙ではなく、学内に「分煙スペース・喫煙所」を設けてほしいです。	学内の喫煙所の設置は考えておりません。
学内の喫煙者の取り締まりを強化してほしいです。	週3回職員による喫煙パトロール・清掃活動に加えて、年2回程度、喫煙マナーに関する周知及び啓発看板設置を実施していますが、引き続き対策に努めます。
教員のコンプライアンス研修を強化してほしいです。	研修は毎年実施していますが、引き続き強化に努めます。

鳥大のすごさを、もっと世界へ

学生・教員の意見	学長回答・今後の対応
運営費交付金が20年で大幅に減少し、これが学費の値上げや教員・研究費・施設維持すべてに影響するのではないかと不安に感じています。	現時点では、学費の値上げは考えていません。
コムギ研究、果樹スマート農業、菌類きのこ遺伝資源研究、工学×医療連携、宇宙分野進出など大学の特色をもっと発信してほしいです。	ブランディング強化に向け、令和7年7月に新たに広報・基金室を設置しました。新体制のもと、今後一層の広報強化に努めます。